

2026 年度 仙台青葉学院大学 看護学部・リハビリテーション学部

総合型選抜Ⅰ期「基礎学力テスト」のサンプル問題について

公表している問題は、総合型選抜Ⅰ期の試験科目の一つである「基礎学力テスト」のサンプル問題です。

「基礎学力テスト」は、2教科で試験時間 60 分、設問数は各教科で 15～20 程度の設問を予定しています。

<公表の趣旨・留意点>

このサンプル問題は、「基礎学力テスト」について、具体的なイメージを持っていただき、受験に向けた準備ができるよう作成、公表しております。

なお、公表している問題はサンプル問題となりますので、試験当日、全く同様の形式で出題されるものではありません。

<出題範囲>

教科	科目
国語	「現代の国語」・「言語文化（古文、漢文を除く。）」
外国語	「英語コミュニケーションⅠ」・「英語コミュニケーションⅡ」

次の文章を読んで、後の問い（問1～7）に答えよ。

グローバル社会を生きる日本人にとって必要なのは、ロジックとAハラ芸の二刀流です。家族や友達とプライベートな会話をしているときに、ロジックを使うのは、やはり理屈っぽくて、堅苦しく、かえって人間関係がギクシヤクします。明治の知識人がそう（ア）キトしたように、日常生活ではハラ芸を使いながら、公の場では、グローバル社会のB方便、すなわち「知的護身術」として、意識的にロジックを使うのです。

おおまかにまとめるなら、公の場で話したり書いたりするときは、ロジックを用います。話すときは「ですます調」、書くときは「である調」にすればいいだけです。伝統的な日本のハラ芸を使うのは、タメ口で話すときだけ、と考えていいでしょう（もちろん、英語では、たとえ口語や俗語でも、ロジックを使います）。

（中略）

とはいえ、「である調」でロジカルに日本語を書く機会は、まずほとんどの人にはありません。硬い評論文——新聞の社説や雑誌、書籍など——を「読む」機会なら、毎日のようにあっても、「書く」のは、せいぜい、大学受験での小論文か、大学でのレポートや論文くらいです。

インターネットが（イ）フキウした現代の日常生活において、日本語をロジカルに「書く」機会があるとすれば、現実には、ほとんど電子メールだけと言っていいでしょう。もともと、メールの文面も「ですます調」ですから、実際には「話す」として何も変わりません。Cところが、このメールが、くせものなのです。

数学者の藤原正彦さんは、『国家の品格』（新潮新書）の中で、日本の文明の特徴として、「情緒」と「形」を挙げておられますが、その最たるものが「手紙」と言えるかもしれません。

日本語の手紙は、前文、主文、後付けの順番で構成されます。前文ひとつ取ってみても、「拝啓」などの「頭語」、次に「時候のあいさつ」、「（ウ）アンピ」を問い、繁栄を喜ぶ言葉、「平素お世話になっているお札」と、細かくその順序が決まっています。

そもそも、日本人にとっては、「手紙を出す」という「行為」、すなわち「形」そのものに大きな意味があります。たとえば、五月であれば、頭語と時候のあいさつは、「拝啓 新緑の候 皆様ますます（エ）ゴケンショウのこととお喜び申し上げます」です。相手が会社経営者で、そのやりくりに苦しんでいることを知っていても、あえて形式的にそう書きます。それでも、心は伝わります。忙しいさなか、わざわざペンを走らせ、手紙を書いてくれた。「がんばってください。元氣を出してください。応援しています」という心を、「手紙」という「形」に乗せて伝えるのです。これもまた、日本人の「察し」であり、ホンネとタテマエの使いわけです。

もちろん、最近では、メールが主流となり、手紙を書く機会は、ほとんど絶滅してしまいました。だからこそ、手紙という「形」の持つ重みは、いっそう大きくなっていると言えるかもしれません。お礼や謝罪、借金の申し込みなどは、本気であるなら、メールではなく、手紙にした方がよい、と考える日本人は、今でも多いものです。下手な文字でも自筆で手紙をしたため、ポストに投函するという行為そのものが、文字通り「ものを言う」

のです。

実は、この手紙に関して、僕自身が痛い経験をしました。ちくま新書の現編集長と、はじめてお目にかかった時のことです。大阪のあいりん地区に取材があるとのことで、新大阪駅近くのホテルでお会いすることになりました。僕は、神戸でしか手に入らないクッキーをおみやげにたずえ、新大阪に向かいました。そして、長時間にわたり、有意義なお話をした後、喜んで帰路につきました。もちろん、帰宅してすぐ、お礼のメールを送信しました。すべて「形」に則った行為です。

ところが、編集長からのメールが届きません。確か、土日をはさんでの出張でしたから、「それなら月曜には返信があるだろう」と思っていたところ、月曜になっても、火曜になっても、メールが届かないのです。正直、これには僕もカチンときてしまいました。それなりに付き合いの長い著者が（最初の出版からなら約十年）、手土産まで持つて片道二時間の道のりを出かけていったのに、ホンネはどうあれ、形式的に失礼ではないか、と。ところが、その翌日、郵便受けを開いてみると、なんと、実に丁寧にしたためられた編集長からの直筆の手紙が入っていたのです。a（ ）。

（中略）

現代日本人の生活において、メールは、英語的コミュニケーションと日本語的コミュニケーションが、もつともいびつに入り混じってしまったものだと思います。すなわち、英語の「ロジック」だけでも、また日本語の「形と情緒」だけでもない「文化ミクスチャー」です。

スウェーデンの社会経済学者グンナー・ミューダールは、『アジアのドラマ』の中で、アジアの国々が近代化過程において直面する「制度と態度」の問題を論じています。ミューダールによれば、「制度と態度」は文化と密接に関わっており、「慣性」を持った大きな障害となつて、近代化を阻みます。

電子メールの書き方が、グローバル・スタンダードである英語のロジックに基づくものであることは言うまでもありません。インターネットがアメリカで生まれたものである以上、それは当然の帰結なのですが、伝統的な日本の「形と情緒」が、まさに慣性を持った障害となつて、今日の文化ミクスチャーをもたらしているわけです。

平成二十七年（二〇一五年）に、僕が書籍を出版した時のことです。ちょうどその年、僕は自社制作によるDVD教材をリリースしており、編集部のご厚意で、チラシ（広告）の投げ込み^{（注1）}をお願いすることになりました。ただ、最後の最後まで、僕は決断をためらっていて、図1のようなメールを担当の編集さんに送りました。

改めて読み返してみると、僕の文面は、b（ ）。「頭語」や「時候のあいさつ」こそないものの、主文に入る前に、きちんと「平素お世話になっていろいろお礼」を述べています。形式的な「前文」です。また、メールの最後に、「大変な乱文である」と、謙遜もしています（何度も推敲し、失礼のないように書いた文面であることは、言うまでもありません）。

実は、僕の中では、これはチラシの投げ込みを正式に依頼するメールでした。「ただ」と譲歩し、躊躇を伝えてはいませんが、「基本的にはお願いする方向で考えております」をクレーム^{（注2）}にして書いたつもりでした。もちろん、「躊躇がないわけではありません」は、タテマエです。メールの最

後で、チラシの納入先や納入部数、納入期日についても問い合わせしており、婉曲的ではあるものの、このホンネとタテマエは、十分に伝わっていると思います。

c ()、このメールに対する担当さんからのお返事は、「こちらに迷惑ということとは、まったくありません。○月○日までにお知らせいただければ、間に合います。ゆっくりお考えになってください」でした。d ()、ホンネとタテマエを逆に受け取られてしまったのです。

差出人：	横山雅彦
 宛先：	〇〇さま
 CC：	
件名：	チラシの投げ込みの件

〇〇さま

大変お世話になっております。

チラシ投げ込みの件、いろいろとお気遣いいただき、本当にありがとうございます。

いろいろ悩んだ末、基本的にはお願いする方向で考えております。ただ、DVDが完全に大学受験のリーディングに特化したものであるのに対して、ちくまプリマー新書の読者が一般の方であることを思い合わせると、やはりまだ躊躇がないわけではありません。〇〇さんの忌憚ないご意見をお聞かせいただけたら、幸いです。

チラシは、先日お話しした株式会社〇〇の〇〇さんが制作し、印刷の手配もしてくださるとのことです。チラシの納入先、およびお納めする部数と期日をお知らせいただけますでしょうか。最後までいろいろとご面倒をおかけし、大変心苦しく思っております。

取り急ぎ、お詫びとお願いまで申し上げました。
大変な乱文です。何卒よろしくご判読ください。

図 1

(横山雅彦『「超」入門！ 論理トレーニング』一部改変)

注 1 チラシ (広告) の投げ込み — 製本した本にチラシ (広告) を挟み込むこと。
注 2 クレーム — ここでは「要件」という意味でつかわれている。

問1 傍線部(ア)～(エ)の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は

1

4

1 (ア)キト

- ① 友人はいつもキゲンがよい。
- ② 創立15周年のキネン式典に参加する。
- ③ 相手の活躍をキネンする。
- ④ 良いキカクを立案する。
- ⑤ 被災者に衣類をキフする。

2 (イ)フキュウ

- ① 生物がいずれ死ぬのは、フヘン的な事実だ。
- ② フショウながら誠心誠意努力します。
- ③ フカ価値を高めることが重要だ。
- ④ 現在では、フケイよりも保護者という表現がよく用いられる。
- ⑤ 今年のホウフを述べる。

3 (ウ)アンビ

- ① ヒガンを達成した。
- ② キョヒ的な反応を示す。
- ③ 欠席者のヒリツが高い。
- ④ スマートフォンをヒツウチ設定にする。
- ⑤ ヒクツな態度をとる。

4

(エ) ごケンシヨウ

- ① 粘り強いコウシヨウを続ける。
- ② ゴシヨウですから、これ以上はご勘弁ください。
- ③ 取引先とのセツシヨウを重ねる。
- ④ 応援しているチームのシヨウリツが高い。
- ⑤ 仮説をシヨウメイする。

問 2

傍線部 A 「ハラ芸」 が用いられる場面の最も端的な例として筆者が挙げているものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 解答番号は

5

- ① 公の場で話すこと
- ② 手紙を書いて送ること
- ③ レポートを書くこと
- ④ 苦しんでいる人に「がんばってください」と声をかけること
- ⑤ 丁寧な電子メールを送ること

問 3

傍線部 B 「方便」 に最も近い意味の言葉を、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 解答番号は

6

- ① 理屈
- ② 直情
- ③ 便宜
- ④ 隠蔽
- ⑤ 防衛

問 4 傍線部 C「ところが、このメールが、くせものなのです。」の説明として最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。

解答番号は 7

- ① 電子メールが多く使われるようになったことで、日本の文明を最も象徴するものといえる「手紙」が廃れてしまう。
- ② 電子メールでは心が伝わりづらいため、日本人のコミュニケーションの希薄化が進んでしまう。
- ③ 電子メールの書き方は英語のロジックに基づくものであるため、日本人のコミュニケーションが英語化してしまう。
- ④ 電子メールは手紙と違って「形」を持たず、「慣性」をもった大きな障害となるため、厄介である。
- ⑤ 日本人の電子メールのやりとりには、ロジックとハラ芸がいびつに入り混じっているため、時としてメッセージの誤解が生じてしまう。

問 5 a（ ）に当てはまる文章として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 解答番号は 8

- ① まさに、一本取られた気分でした
- ② 返信が遅すぎると思いました
- ③ 編集長が何を思ったのか、まったく理解できませんでした
- ④ 編集長に対して、さらに怒りがこみ上げてきました
- ⑤ そこには、編集長からの心のこもったお礼が書かれており、心温まりました

問 6 b（ ）に当てはまる文章として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 解答番号は 9

- ① 手紙の書き方そのものです
- ② まさに文化ミクスチャーです
- ③ 完全にロジックに基づいています
- ④ メールの後半まで読まない要件が分からず、丁寧ではあるものの、読みづらいです
- ⑤ 躊躇があったにも関わらず、端的に要件が伝わるものになっています

問 7

c ()、d () に入る語句の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

解答番号は

10

① c として、d つまり

② c ところが、d したがって

③ c ところが、d つまり

④ c として、d したがって

⑤ c ところが、d かし

I. 問題 1～10 について、()に入る最も適当なものを①～④のうちから一つずつ選びなさい。

1. Finding a strange insect while doing gardening, my mother () to her illustrated book and learned its name.

- ① anticipated ② pretended ③ created ④ referred

2. The severe heatwave we experienced this summer is one of the obvious () of global warming.

- ① effects ② reasons ③ efforts ④ causes

3. Over the past few years, a frequent () of tornadoes has been reported throughout Japan.

- ① vengeance ② resilience ③ occurrence ④ importance

4. The museum tour guide warned participants () pictures of this exhibition.

- ① not taking ② not to take ③ to not taking ④ not to taking

5. On the () of our homeroom teacher's retirement, we prepared a bouquet with a message card as a present.

- ① occupation ② obligation ③ objection ④ occasion

6. Anna has lost her purse. It's the second time this ().

- ① happens ② is happening ③ has happened ④ will happen

7. A new apartment is going to () in my neighborhood.

- ① be built ② build ③ be building ④ building

8. Many Japanese people had an interest in the () of the American Presidential Election.

- ① visit ② happening ③ outcome ④ coming

9. You should register your bicycle () stolen.

- ① in case it is ② if it is ③ in case it will be ④ if it will be

10. Tom is a reliable person. He'll never ().

- ① put you up ② take you over ③ let you down ④ make you up

II. 問題 11～15 について、下線部と同じ意味になるものを①～④のうちから一つずつ選びなさい。

11. A grant is paid by the government to an enterprise working on artificial intelligence.

- ① cash ② campaign ③ subsidy ④ prize

12. The governor was paying money to the general construction company under the table.

- ① constantly ② secretly ③ subsequently ④ precisely

13. The president gave up his plan to construct a new office building.

- ① resumed ② postponed ③ abandoned ④ assumed

14. My son doesn't like to be told that he resembles me.

- ① takes after ② looks after ③ goes after ④ comes after

15. You should take this medicine in order to ease your pain.

- ① reject ② relieve ③ remind ④ refuse

III. 問題 16～20 について、①～⑤の単語を並びかえて文を完成させ、3 番目に入るものを選びなさい。

16. ちょうど家を出ようとした時、電話が鳴った。

I was _____ when the phone rang.

- ① about ② leave ③ just ④ home ⑤ to

17. 私はこの写真を見れば、必ず祖母をおもいだします。

I never see this picture _____ grandmother.

- ① of ② being ③ my ④ reminded ⑤ without

18. このお薬を服用する前にラベルの指示をお読みください。

Please _____ on the label before taking this medication.

- ① the ② to ③ remember ④ directions ⑤ read

19. 彼女は私の耳飾りの2倍の値段もする耳飾りを買いました。

She bought a pair of earrings _____.

- ① the ② mine ③ twice ④ of ⑤ price

20. 町中に広まった噂は誤りでした。

The rumor that had spread all over the town _____.

- ① out ② be ③ to ④ false ⑤ turned